

県議会 とちぎ

2011年4月24日

編集・発行 栃木県議会

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-3772
FAX 028-623-3755
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
HPアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai>

Digitized by srujanika@gmail.com

No.
98

可決された主な議案

- 平成23年度栃木県一般会計予算
 - 平成23年度栃木県特別会計予算
 - とちぎ安心医療基金条例の制定について
 - 栃木県新たな公の担い手支援基金条例の制定について
 - 栃木県県民生活活性化基金条例の制定について
 - 栃木県子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金条例の制定について
 - 栃木県副知事の選任同意について

採択された請願・陳情

- ◆ 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加断固阻止に関する陳情
 - ◆ 保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情

可決された意見書

- 平成23年東北地方太平洋沖地震に関する意見書
 - 外国資本による土地売買等に関する法整備を求める意見書
 - 非線引き都市計画区域内における農地転用手続等の緩和を求める意見書
 - 環太平洋経済連携協定に拙速な参加をすることに反対する意見書
 - 保育制度改革に関する意見書
 - 北方領土問題の早期解決を求める意見書

The image shows the interior of the Fukuoka Prefectural Assembly Hall. The room is large and modern, featuring light-colored wooden paneling on the walls. In the foreground, several rows of wooden desks are arranged, each with a person seated at it. The desks are light-colored wood. Above the desks, there are blue nameplates. In the background, a large arched opening leads to another room. On the left wall, the Japanese flag is displayed. On the right wall, there is a green square sign with a white symbol. The overall atmosphere is formal and professional.

平成23年度予算案について説明する福田知事

第305回定例会 代表・一般質問者及び質問項目

第305回定例会 本会議質疑・質問から

主な質疑・質問の要旨と、執り行部の答弁です。

道州制を視野に入れれた 県政経営と財政再建

問 各県が企業改革の視野で
県政経営を進めなければ、自然に道州制への移行が必要になると考へる。そうしたこと

を踏まえ、効率的な県政経営を進めるべきであり、それが財政再建にもつながると考え
るが、知事の考え方を聞きたい。

答 今般策定した「とちぎ行革プラン」において、民間・市町村との役割分担の明確化と費用対効果の視点から、県の事業を聖域なく見直した「とちぎ未来開拓プログラム」の着実な実行により徹底した選択と集中に取り組み、「自律的な財政基盤の確立」を図つていくこととしている。県有財産の有効活用についても、指針を策定するなど、積極的に取り組んでいく。

問 地域医療においては、医師不足のみならず、看護職員不足も深刻な問題であるが、今後五年間ににおいても、需要に供給が追い付かず、看護職員不足が続くことが予測されている。地域医療提供体制確保のため、県は看護職員不

足にどう対応するのか、知事に聞きたい。

答 看護職員の確保については、県では、省内定着の促進、離職防止、再就業促進の三つを柱に様々な対策に取り組んでいる。

今年度は、中小病院の正職員の短時間勤務制度の促進や、新人看護職員研修の充実等の離職防止対策の強化に努めており、さらに新年度は、看護学生へのカウンセラー派遣、助産師資格取得の支援等新たな対策に取り組む。

結城紬の振興

問 昨年十一月、結城紬はユネスコ無形文化遺産に決定された。県では、これを契機に結城紬のPRに努めているが、

小山市では、新成人が成人式用に結城紬を購入する際の購入費用を助成するなど、生産者にとって安定した受注量を見込める施策を行おうとしている。県は、結城紬の振興のため今後どのような対策を行っていきのか聞きたい。

答 新年度、小山市、産地組合と共同で講演会やシンポジウム等の記念イベントを開催して、県内外に広く結城紬をPRする。また紡織物技術支援センターでは、PR用ビデオの製作、「製伝習生」の養成に加え、綿くり等の主要工程の習得を目指す「研究生制度」を創設し、伝統技術の継承と即戦力人材の育成を図る。

問 私は、初当選後の平成十二年度から三期十二年間の議員生活において、ほぼ毎回に同ってきた。財団法人大谷地

域整備公社については、県出安全部門や振興策等についても、年次報告書を通じて、どのよう

年を目途に解決に向けた道筋を立てるべきとの提言がなされたが、この度は、改めて、県は、宇都宮市と早急に協議し検討に着手するところであるが、進捗状況について知事に聞きたい。

答 議員からは、これまで多くの貴重な意見や提言をいたしました。公社については、年度内に、国、宇都宮市、公社と検討協議会を設置し、大谷石採取場跡地の安全対策への行

政関与のあり方や公社の担当べき役割などについてさらに検討を進めていただきたい。

問 本県では国のハローワークとともに求職者支援のための施設を一括的に設置し、仕事を失つた方の生活安定と再就職を支援している。私は、宇都宮にあるこうした施設を国と連携し県内に増設するとともに、平成二十四年度以降も存続させるべきだと考

えるが、知事の所見を聞きたい。

答 現在、県では、県南・県北地区の求職者支援として、毎月五地区で総合的に対応している。議員ご指摘の具体的な支援を行う施設は、利便性向上や就労支援の充実が図れると考えるが、県労政事務所や他の機関との役割分担など課題もある。そこで、基金終了後を見据えた総合就労支援のあり方について、栃木労働局や関係機関等と協議調整を図りながら検討する。

答 新しい旅行分野の開拓は、地域の活性化を図る上でも有効だ。新年度から、県内各地に埋もれている地域資源の掘り起こしなど素材作りを行い、これらを組み合わせた旅行商品などを造成し、効果的に情報発信することで、ニューツリズムの推進を図っていく。

答 新しい旅行分野の開拓には、「食の回廊」などの諸施策との連携や体感・体験する観光の推進など地域との連携を密にした取組が必要だが、「観光立県とちぎ」の実現に向けて、どのような戦略をもって臨むのか知事に聞きたい。

答 得点掲示板については、柱とし、特に、市町村等と連絡して実施する交流イベントを重視し、全国各地から来

体等の要望を踏まえ、改修を決断した。大型映像装置の設置により、集客力の増加とともに、非常時の非難誘導に役立つと考へる。今後も県民総スポーツの推進に努めていく。

答 「とちぎの輪」、「とちぎの元気」、「とちぎの魅力」を柱とし、特に、市町村等と連絡して実施する交流イベントを重視し、全国各地から来る食や観光、特産品などで「元気なとちぎ」に触れていただきたいと考へるが、知事の所見を聞きたい。

答 本県が初めて開催する前夜祭において、選び抜かれた県内各地のご当地グルメなどでの投票により、本県のグルメナンバーワンを決定し、祭典を盛り上げていきたい。

答 「とちぎの輪」、「とちぎの元気」、「とちぎの魅力」を柱とし、特に、市町村等と連絡して実施する交流イベントを重視し、全国各地から来る食や観光、特産品などで「元気なとちぎ」に触れていただきたいと考へるが、知事の所見を聞きたい。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

る意見書案を全会一致で可決しました。

問 食の安全と安定的供給を図るためのキヤリア教育の育成を図る

問 厳しい雇用環境の中、志望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

答 キヤリア教育の充実を重視策の一つに位置付け、将来自立するための基盤となる能力や態度が身に付くよう、学校の教育活動全体で体系的に取り組む。学習と将来的な生活や職業を結びつけ指導の充実を図るとともに、学校と家庭・地域・企業等との連携を図りながら一層推進していく。

答 副知事の選任同意を可決して、原案どおり可決しました。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

職業観・勤労観醸成のためのキヤリア教育

問 厳しい雇用環境の中、志

望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり

問 犯罪や交通事故による被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題

年間の立地条件や地域農業の形態に当てはめた正確な影響額の算出は困難である。

答 県は、国に、責任ある説明や情報提供に努め国民の理解を得ていくなどの適切な対応をとるよう訴えるとともに、情

報収集に努めていく。また、全国一律の試算方法では、本県の立地条件や地域農業の形態に当てはめた正確な影響額の算出は困難である。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり

問 犯罪被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題

である。特に、若い世代が犯罪被害者の立場を理解し、命の大切さを認識することは、いじめや暴力、自殺の防止にもつながる。そこで、若い世代に対し、犯罪被害者を支え、被害者を出さない社会づくりをどのように理解させるのか聞きたい。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

職業観・勤労観醸成のためのキヤリア教育

問 厳しい雇用環境の中、志

望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり

問 犯罪や交通事故による被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題

である。特に、若い世代が犯罪被害者の立場を理解し、命の大切さを認識することは、いじめや暴力、自殺の防止にもつながる。そこで、若い世代に対し、犯罪被害者を支え、被害者を出さない社会づくりをどのように理解させるのか聞きたい。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

職業観・勤労観醸成のためのキヤリア教育

問 厳しい雇用環境の中、志

望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり

問 犯罪や交通事故による被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題

である。特に、若い世代が犯罪被害者の立場を理解し、命の大切さを認識することは、いじめや暴力、自殺の防止にもつながる。そこで、若い世代に対し、犯罪被害者を支え、被害者を出さない社会づくりをどのように理解させるのか聞きたい。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

職業観・勤労観醸成のためのキヤリア教育

問 厳しい雇用環境の中、志

望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり

問 犯罪や交通事故による被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題

である。特に、若い世代が犯罪被害者の立場を理解し、命の大切さを認識することは、いじめや暴力、自殺の防止にもつながる。そこで、若い世代に対し、犯罪被害者を支え、被害者を出さない社会づくりをどのように理解させるのか聞きたい。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

職業観・勤労観醸成のためのキヤリア教育

問 厳しい雇用環境の中、志

望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり

問 犯罪や交通事故による被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題

である。特に、若い世代が犯罪被害者の立場を理解し、命の大切さを認識することは、いじめや暴力、自殺の防止にもつながる。そこで、若い世代に対し、犯罪被害者を支え、被害者を出さない社会づくりをどのように理解させるのか聞きたい。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

職業観・勤労観醸成のためのキヤリア教育

問 厳しい雇用環境の中、志

望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり

問 犯罪や交通事故による被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題

である。特に、若い世代が犯罪被害者の立場を理解し、命の大切さを認識することは、いじめや暴力、自殺の防止にもつながる。そこで、若い世代に対し、犯罪被害者を支え、被害者を出さない社会づくりをどのように理解させるのか聞きたい。

平洋沖地震に関する意見書案を可決

三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求め

職業観・勤労観醸成のためのキヤリア教育

問 厳しい雇用環境の中、志

望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キヤリア教育にどのように取り組むのか聞きたい。

犯罪被害者を支え被害者を出さない社会づくり